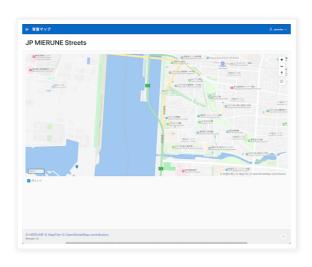
# 日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年10月24日火曜日

# APEX 23.2のマップ背景としてMapTiler CLOUDのJP MIERUNE Streetsを使用する

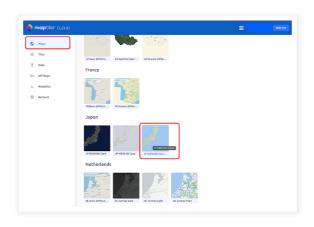
Oracle APEX 23.2のマップ・リージョンの新機能として、マップ背景を選べるようになりました。

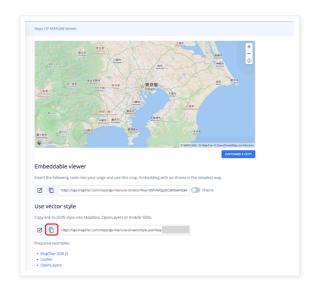


MapTiler CLOUDのアカウントを取得して、JP MIERUNE Streetsをマップ背景として設定してみます。

https://cloud.maptiler.com/maps/

Mapsを開き、JapanのJP MIERUNE Streetsを開きます。





あらかじめOracle APEX 23.2で空のアプリケーションを作成しておきます。

共有コンポーネントのマップ背景を開きます。



作成済みのマップ背景が一覧されます。

作成をクリックします。



マップ背景の名前はJP MIERUNE Streetsとします。タイプにベクター・タイル・レイヤーを選択します。

MapTilerの画面でコピーしたURLにはAPIキーが含まれています。URLにkey=で指定されているAPIキーをAPIキーに設定し、スタイルシートをマップするURLにはAPIキーの部分を{api-key}に置き換えたURLを設定します。

JP MIERUNE Streetsであれば、URLは以下になります。

https://api.maptiler.com/maps/jp-mierune-streets/style.json?key={api-key}

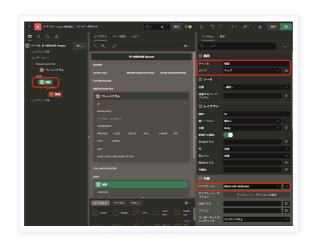
マップ背景の作成をクリックします。



マップ・リージョンを作成し、マップ背景を変えて表示を確認してみます。

空白のページを作成した後、新規にリージョンを作成します。

識別のタイトルを地図として、タイプにマップを選択します。外観のテンプレートとしてBlank with Attributesを選び、余計な装飾を除きます。



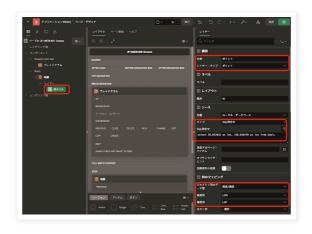
**レイヤー**の**新規**を選択し、**識別の名前**を**ポイント**に変更します。**レイヤー・タイプ**として**ポイント** を選びます。

ソースのタイプにSQL問合せを選択し、SQL問合せとして以下のSQLを記述します。東京都の緯度経度を返しています。

select 35.652832 as lat, 139.839478 as lon from dual;

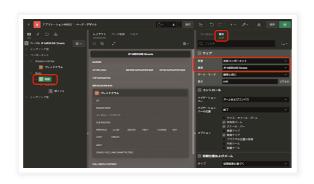
**列のマッピング**の**ジオメトリ列のデータ型**として**経度/緯度**を選択し、**経度列にLON、緯度列**として**LAT**を選びます。

最低限の設定ですが、ページを開くと東京の地図が表示されるようになりました。



マップ・リージョン地図を選択し、プロパティ・エディタの属性タブを開きます。

マップの背景に共有コンポーネントを選び、標準として先ほど作成したマップ背景JP MIERUNE Streetsを選択します。



以上でページを実行すると、地図の背景としてJP MIERUNE Streetsが表示されていることが確認できます。



MapsのSatelliteやJP MIERUNE Dark、JP MIERUNE Grayも同様の手順でマップ背景として表示できます。

今までよりも、きれいな日本地図が表示されるようになり、マップ・リージョンの使い勝手も高くなったように感じます。

今回の記事は以上になります。

MapTilerのFree Planの上限や価格については、MapTierのページを参照してください。

https://maptiler.jp/cloud/pricing/#maps

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 18:36

共有

**ホ**ーム

# ウェブ バージョンを表示

#### 自己紹介

## Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

## 詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.